



## 【 出 席 報 告 】

・会員数	54名	・出席数	34名	・欠席数	20名
・当日出席率	72%	・前々回修正出席率	98.04%		

<欠席会員>原、平田、板脇、片山、冠、木村、吉良、小堀、楠橋、桑森、松木(徹)、村上(裕)、西本、大澤、岡本、越智、坂本  
 [免除会員] 青野(明)、檜垣(巧)、光藤  
 <11/8 欠席補填>(10/30 徳島美馬)阿部 (10/27 地区大会)冠、村上(裕)、八木(正) (10/28 地区大会)眞鍋、重松  
 (10/29 今治北)原、楠橋、木村、宮道、岡本、坂本、八木(伸)

◇**会長報告** ・ロータリー財団より大河内雅徳会員へ、ポールハリスフェローピンが届きました。

◇**幹事報告** ・11月30日(金)に新会員歓迎会を行いました。  
 ・12月5日(水)、事務局は午後のみ営業になります。

## ロータリー財団委員会アワー

◆**八木伸樹委員長**：ロータリー財団とは寄付金を集めて管理し、用途を決めて配分する組織です。国際ロータリークラブ連合会(後のRI)アーチ・C. クランフ会長が1917年6月、寄付による基金をロータリーで作り、世界規模で慈善、教育、その他の社会奉仕の分野で何か良いことをしようと米国アトランタ国際大会で提案し、採択されました。初めての寄付があったのは数ヶ月後、カンザスシティRCからの26ドル50セント。6年を経ても集まったのは700ドルに過ぎませんでした。5000ドルに成長した1928年、ミネアポリス国際大会でロータリー財団と認定され、国際ロータリーから独立した機関となりました。その後1931年に信託組織、1983年に非営利財団法人となって現在に至ります。▼1869年に貧しい家庭に生まれたアーチ・C. クランフは12歳で仕事に就きました。それから夜間学校に通いながら仕事を続け、18歳で就職した木材会社で最終的には経営者になります。1911年にクリーブランドRCの創立会員となり、翌年には会長を務めました。その最後のスピーチで提案した非常時基金が1917年の提案につながったとされています。国際ロータリークラブ連合会の理事だった1915年には標準クラブ定款細則の制定に責任者として関わったほか、ロータリーに地区を設け、地区ガバナー職を作り、年次地区大会を確立したのも彼の業績です。▼優れたフルート奏者でもあった彼は熱心なロータリアンで、友人たちは「寝ても覚めてもロータリー」と評していたそうです。1928年にロータリー基金がロータリー財団に改称されたとき、彼は「我々はこの財団を今日明日の時点ではなく、何年、何世代の尺度で見つめるべきです。なぜならロータリーは幾世紀にも亘る運動だからです。」と述べました。彼が1928年にグラスゴウのロータリアン誌に記した財団プログラム(学生の交換、グループの交換、国際事業関係を通じての友好)はその後、財団事業として実施された奨学金、研究グループ交換、マッチンググラントなどの形で実現しています。▼1929年、ロータリー財団は初の補助金500ドルを身体障がい児童保護国際協会へ贈りました。これにはポールハリスが匿名で寄付した500ドルを同協会へ贈ることを要望したという裏話が残っています。この補助金の使い道が障害のある人、困窮している人、そして青少年のためにというロータリー財団の方向性を大きく決定づけました。それが保健、飢餓追放、人間性尊重からなる3Hプログラム(Health, Hunger, and Humanity Program)。そしてポリオプラスも死に至る小児病の予防にまで発展させたプログラムです。▼1947年にポールハリスが亡くなると70か国以上、30万人以上から130万ドル以上の寄付が集まり、財団はポールハリス記念基金を設けました。その後も財団は人道的分野、教育的分野の支援活動を続けながら、今や10億ドル以上の寄付を受ける組織へと発展を遂げました。しかしプログラムの数が多く、使い勝手が悪い、手続きが面倒、複雑でわかりにくいといった批判的な意見が多かったのも事実。そこで2017年の財団設立100周年を機に、ロータリアンが財団を身近なものに感じられるよう一部の権限を地区やクラブに委譲した「未来の夢計画」がスタートしました。ロータリアン自らも活動しやすい多種多様な奉仕プロジェクトを実施することで社会に多大な影響と持続可能な成果をもたらし、ロータリーの公共イメージの高揚にも貢献する、より効果的で効率的、簡素化した支援方法を目指したグローバル補助金と地区補助金の2種類からなる新しい補助金モデルです。これまで2670地区では人道・教育・社会・スポーツ・環境の各支援に役立てられました。▼このほかポリオプラス、奨学金制度、パッケージグラント、ロータリー平和センター等の取り組みがありますが、これらの説明は次年度の委員長と週報担当者が恐らく苦慮することでしょう。

## 次 回 例 会 (12月6日)

## 【 年次総会・会員増強委員会アワー 】

<会員誕生日祝>平尾浩一郎氏 (12/9) 青野 淳一氏 (12/11)  
 <配偶者誕生日祝>坂本 考弘氏 (12/7) 八木 伸樹氏 (12/11)  
 <結婚記念日祝>八木 伸樹氏 (12/11)

〔 笹 〕